

ウトロ海域における保全と利用の取組の進捗状況について

知床ウトロ海域環境保全協議会の取組みと主な活動

うみどり WEEK 開催（7月14日から7月31日）

知床ウトロ海域環境保全協議会企画

うみどりウィーク
海鳥 WEEK
7/14(日)~7/31(水)

うみどり WEEK 期間中はイベントが盛りだくさん!

うみどり解説トーク
実物のうみどりを見て解説を聞いてみよう!
大型観光船おーら号で解説
7/15(月)10:30発 カムイワッカの海航路
7/18(木)10:30発 カムイワッカの海航路
7/23(火)10:30発 カムイワッカの海航路
7/26(金)10:00発 秘境知床航路
別途乗船料が必要です。

うみどり & 知床海の写真展
ケイマフリや知床の海の生き物をとらえた写真の数々。
展示場所：知床世界遺産センター
展示期間：7月14日(日)～8月10日(土)
入場無料

うみどりサンセットクルーズ
知床の海にすむ鳥たちの生活をじっくり解説つきでご案内します。
日時：7月27日(土) 17:40出港～18:40帰港
参加費：大人3000円 子供(高校生まで無料)
知床海のハンドブック付き KOWA 双眼鏡無料貸出し
問い合わせ先：知床小型観光協議会 事務局
TEL：0152-24-3231

うみどりトーク
うみどりを知らう！海鳥の専門家による解説トーク
ホテルで夜のひととき海鳥の話に耳をかたむけませんか？
20時30分よりホテルロビーにて開催
7/14(日)：北こぶし知床 ホテル&リゾート
7/17(水)：KIKI 知床ナチュラルリゾート
7/23(火)：知床第一ホテル
7/25(木)：ホテル知床

「うみどり WEEK」に関するお問い合わせ
知床ウトロ海域環境保全協議会 事務局
環境省ウトロ自然保護官事務所内
TEL：0152-24-2297

・うみどりトーク

ウトロにある観光ホテルにおいて4回開催を行った。北こぶし 知床グランドホテル 49名・KIKI 知床ホテル 51名・知床第一ホテル 31名・ホテル知床 25名の合計156名の参加があった。昨年は合計110名の参加であった。参加の少なかった知床第一ホテルではフロントロビーに近い場所に移していただきトークを行い参加者が増加した。海鳥ウ

ワークの前半に行なったため子供の夏休み期間から外れており、今後は子供の参加を増やすために夏休み期間に開催を考慮したい。今回はケイマフリを中心とした海鳥の解説に加えプラスチックの海洋汚染などの環境問題の内容にも触れた。



・ うみどり観察トーク

ウトロ漁港発着の大型観光船おーろら号に乗船し、実際に海鳥の観察を行いながら解説を行った。

7月15日：50名、7月18日：50名、7月23日：60名の計3回の合計約110名の参加者があった。それぞれウトロ港発でカムイワッカの滝で折り返すコースの復路で観察トークを行った。7月26日に予定していた知床岬航路での観察トークは高波のため欠航となったため中止した。

おーろら号はうみどりトーク時には、ケイマフリなどの海鳥の出現ポイントではスピードを緩めたり協力的にさせていただき、うみどりトークの開催趣旨を理解していただいていると感じられた。参加者の反応も良くケイマフリが近くに出現すると歓声があがることもあった。

また、海鳥観察トークの前日にホテルでの海鳥トークを行い連携できるようにしており、今回は少なくとも2組以上の方が前日のトークを聞いて参加したと、声掛けをしていただいた。



・ うみどりサンセットクルーズ

1回目：7月15日 約40名 ウトロ愛護少年団を中心に地元の子供達を招待して行った。



2回目：7月27日 高波が予想されたため中止した。

・ うみどり WEEK 特別展

知床世界遺産センターの展示室において特別展を行った。

・ 知床自然センターでのトーク

7 月 27 日知床自然センターのレクチャーコーナーにおいて約 15 分の海鳥トークを行ったが、天気がよくセンター内に人も少なく関係者だけの参加であった。

・ うみどり WEEK の今後について

海鳥 WEEK も 5 年を迎えマンネリ化しており、来年は世界遺産登録 15 年目でもあり世界遺産登録 15 周年記念と海鳥 WEEK をコラボできないかと考えている。

我孫子ジャパン・バード・フェスティバル

11 月 2 日～11 月 3 日、千葉県我孫子市手賀沼湖畔で開催され、今回で 3 回目の出展。毎年 2～3 万人の来場者がある。協議会の PR の他に、知床国立公園や知床財団そして各観光船の PR を行った。また、今回から展示ブースで海鳥やケイマフリの普及啓蒙を目的としたクイズラリーを行い、来場者と対話を増やす工夫を行い反応も非常に良かった。



大阪自然史フェスティバル

今回はじめての出展。11 月 16 日～11 月 17 日、大阪市長居公園内大阪自然史博物館で開催された。大阪自然フェスティバルとしては 15 年目となる。毎年 1～2 万人の参加があり、今年は 2 万 4 千人の来園者があった。西日本最大の自然史市民の文化祭である。出展ブースも毎年 100 前後である。JBF で好評であったクイズラリーを行った。表面にクイズ裏面に知床海鳥 WEEK の PR を行った。



根室バードランドフェスティバル

1月24日～1月25日 根室市ベルコ会館の展示ブースにおいて展示を行った。
ここでも、クイズラリーを行った。表面にクイズ裏面に知床海鳥 WEEK のPRを行っ



た。

*根室以外での出展では、知床の場所はどこか？ ウトロの場所がどこか？ アクセス方法は？ といった基本的な情報についても明示しておく必要を感じた。まだまだ知名度低いと感じる場面もあった。

知床ウトロ海域環境保全協議会の海のハンドブック

現在、ハンドブックの在庫が1200冊程度になっている。今後、増刷をするのか、改訂版を作成して増刷するのか考える必要がある。協議会の活動資金を得るために最も大切な項目のため、安定した販売促進をするための工夫や営業活動も必要である。

ケイマフリの生息状況について

利用と保護の観点から特筆事項としては、以前、小型観光船の侵入により営巣地を放棄し生息数も減少していた「トークシモイ」（こけし岩周辺）にケイマフリの生息数が回復してきた。これは、この海域に小型観光船の侵入を遠慮していただけるようお願いしてきた結果でケイマフリの保護と利用を進めてきた成果であると考えられる。

しかし、今年は、このトークシモイの湾内には侵入する業者があり、今後は配慮していただけるようお願いをする必要がある。

また、海域 WG の綿貫委員から小型観光船の航路がケイマフリや海鳥に影響がないか再度調べて欲しいというリクエストがあった。

オオセグロカモメの糞被害と駆除

ウトロ市街地の廃屋の屋上に営巣するオオセグロカモメによる糞害に苦情があり、斜里町が巣の撤去を行った。半島の方では営巣数が減少しており、そのかわりウトロ市街地周辺で数が増えている状況がある。また、去年はウミネコの営巣も確認された。今後、このようなカモメ類の糞害による苦情が増えると予想される。知床ウトロ海域保全協議会としても、知床半島でのカモメ類の置かれて状況を住民や観光客に理解していただくとともに、このような軋轢を軽減できるように積極的に関わりたいと考えている。

（*オオセグロカモメとウミネコは北海道指定の絶滅危惧種Ⅱに指定されている）